

日本の大学によるベトナムへの協力

(記入フォーム1: 日本語) 以下に記入ください。(記入内容のボリュームは問いません。複数行になっても結構です)

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月)	相手機関 (●:協定有)	分野名	協力事項	実績と今後の予定等	参考資料	関連 HP	備考
1	北海道大学 (北海道札幌市)		カントー大学●	水産学, 農学, 環境学	共同研究 学生交流 教職員交流	2013 年3 月に大学間交流協定を締結し, 研究・学生交流を実施。 また, ベトナムにおける JICA のプロジェクト「カントー大学強化事業」(2016-2021 年)を通じ、各分野の教員を派遣するとともに、先方からの研修員の受け入れを通じ、研究・教育実施体制の強化を支援。			
2	埼玉大学(埼玉県さいたま市)	ベトナム国立建設大学 SATREPS プロジェクトオフィス (2018 年2 月)	ハイフォン市建設局 ハイフォン市天然資源環境局	工学	共同研究	ベトナム国立建設大学とは 2011 年 11 月に大学間協定を締結し、博士前期・後期学生を受け入れ(本学環境社会基盤国際プログラム実績:1994-2018 年博士前期 20 名以上、博士後期 10 名以上)。また、JASSO 留学生交流支援制度で博士前期課程学生の相互派遣・受入を実施(実績:2011 年以降実績派遣・受入 20 名以上)。NUCE と他の参加機関とともに、2018 年より JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)を実施。今後 も SATREPS 共同研究や JASSO プログラムを通じた教員交流、学生交流も積極的に実施する予定。	04j-02-埼玉大学		
3	東京農工大学 (東京都府中市)		カントー大学●	農学	その他	1996 年に、学術交流協定を締結した。 以降、JICA 草の根事業や円借款事業に発展させ、学生・研究者による共同研究・交流を行っている。		https://www.tuat.ac.jp/	

4	山口大学 (山口県山口市・宇部市)		カントー大学●	農学	共同研究 学生交流 研究者交流	JSPS 研究拠点形成事業「バイオ新領域を拓く熱帯性環境微生物の国際研究拠点形成」において、ベトナム側拠点大学として大学院創成科学研究科(農)と共同研究をはじめ若手研究者交流等を実施。同事業は2019年3月末に終了したが、同様の活動を継続していく。			
5	京都工芸繊維大学(京都府京都市)		カントー大学 (2002年1月1日)		共同研究 学生交流	● 2010年2013年:日本学術振興会二国間交流事業共同研究「ショウジョウバエモデルとベトナム由来天然物のヒト疾患研究への応用」 ● 2014年～2016年:日本学術振興会研究拠点形成事業(アジア・アフリカ学術さいたま基盤形成型)「アジア昆虫バイオメディカル研究ネットワークの構築」 ● 2018年～2020年:日本学術振興会研究拠点形成事業(アジア・アフリカ学術基盤形成型)「天然物化学・昆虫バイオメディカル融合による天然生理活性物質研究ネットワークの構築」 ● 2016年2月から開始された国際協力機構(JICA)による「カントー大学強化附帯プロジェクト」にも本学は参加しており、亀井加恵子教授が国内支援委員を務めるほか、複数の教員が共同研究プロジェクトに参画、またカントー大学から本学大学院への留学生受入れを行っています。			